



延岡市における地域医療の取り組み

～ 医療者が働きたい街No.1を目指して～



平成30年10月5日
延岡市地域医療対策室

本日のメニュー

1. 全国市町村“初”延岡市の地域医療を守る条例
制定に至った経緯

2. 取り組みのポイント

- ① 医療機関のかかり方
- ② 市民の意識改革
- ③ 市民の不安解消

3. 取り組みの課題

- ① 医療に関心のない層へのアプローチ
- ② 活動の継続性



人口(H30.4.1)

121,147人

51,658世帯

面積

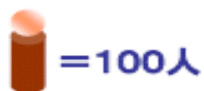
868 km²

九州で2番目の広さ



宮崎県の医師数 (2次医療圏ごと)

医師総数2,754人
(平成28年12月末)



=100人

※は人口10万人
当たり医師数

県平均 251.3人
全国平均 251.7人

県北地域

延岡西臼杵医療圏

262人 (9.5%)
(※181.8人)

延岡市

日向入郷医療圏

150人 (5.4%)
(※168.0人)

西都児湯医療圏

136人 (4.9%)
(※134.9人)

西諸医療圏

129人 (4.7%)
(※174.2人)

宮崎東諸県医療圏

1,539人 (55.9%)
(※360.7人)

宮崎市

都城市

都城北諸県医療圏

368人 (13.4%)
(※194.4人)

日南串間医療圏

170人 (6.2%)
(※237.1人)

宮崎県立延岡病院

許可病床数
460床

医師59名

(平成30年4月現在)

2次救急医療施設

3次救急医療施設

(救命救急センター併設)

延岡西臼杵医療圏
と日向入郷医療圏

宮崎県の面積41%の
エリアの患者に対応



県北25万人の **最後の「命の砦」**

県立延岡病院の状況

平成14年 麻酔科医5人が**全員退職**
⇒ 麻酔科医の確保でひとまず落ち着く

平成18年 眼科 **休診**

平成19年 精神科 **休診**

平成20年度は平成19年度医師数62名から
6名減の56名となる。

平成20年6月 循環器内科医1名**退職**

平成20年9月 消化器内科2名**退職** ⇒ **休診**

医師6人が退職へ

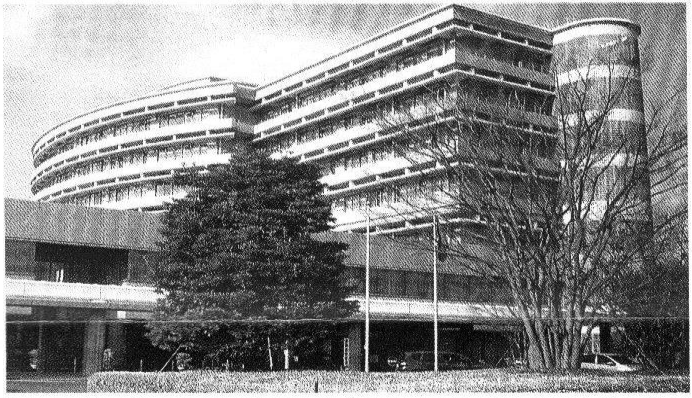
県立延岡病院

補充の見込みなし

腎臓、神経内科休診 透析できず

救急、血液、腎臓各1、神経内科3

医師不足が深刻な延岡病院（種子島半島）で四月まで、副院長、内科、神経内科の医師六人が定員のあまり大学医療部への引き揚げや自都府県理由で退職することが、きままでに分かった。医師の補充がなければ、四月から医師定員六十八人に大きな穴が開いて五人体制となる。中でも腎臓内科、神経内科は医師がゼロになり、休診となる。また、夜間救急体制は継続するが、このままでは過労労働する医師への負担がさらに増すと危惧される。同病院は、医師の確保策に努力することとしているが、見通しはまた立ちどまっている。(面)関連記事



医師6人が退職の意向と分かった県立延岡病院。県北医療の核として役割が果たしているが、住民も不安が募る。

同病院によると、救命救急科の副院長3人が月未、内科の血液腫瘍と腎臓担当医各一人、神経内科医入の計五人がいずれも月末で退職する。そのため腎臓内科、神経内科の紹介患者を受け入れは、今月末でストップする。

副院長と血液担当医、神経内科医の科長は、北海道と県内外の医療機関と人工透析を同時にする。腎臓担当医と神経内科医のうち一人は、宮崎病院と宮大の三方が専任に引き揚げる。神経内科医の一人は、自治医科大学の研修義務期間（千年を過ぎるまで）として、腎臓内科医は、昨年一人が宮大に引き揚げた関係者は残った医師が一人ずつと頭張っていた。正月も休みな働いていくと過酷な勤務口で休診状態となるなど、医師不足が深刻と

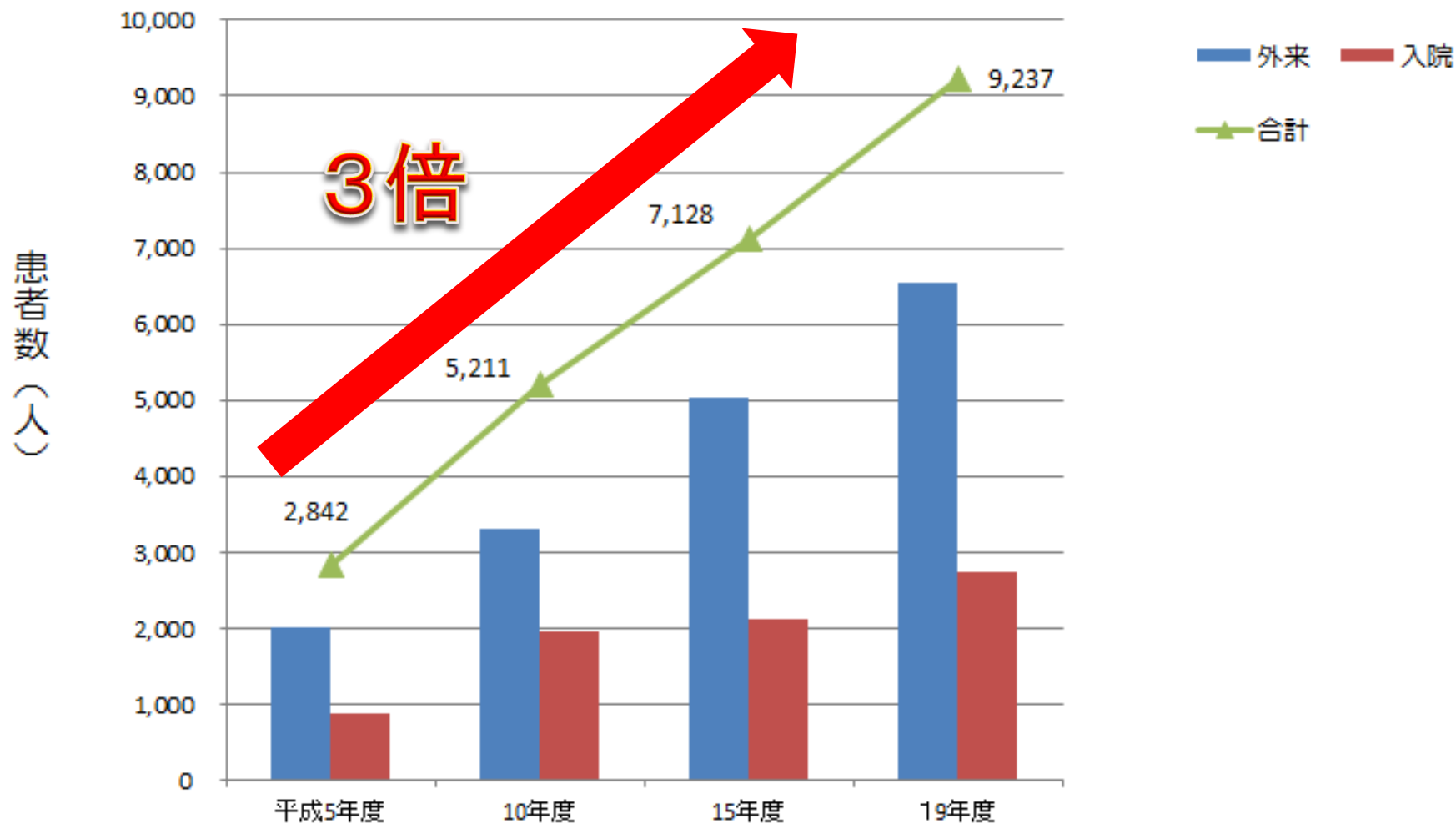
なっている。本来は、二次救急医療機関の同病院が、市内には午後一時以降の夜間救急がほかにないため、同病院が午前時

しかし、今回の大量退職で医師の直回数が減ると、医師にかかる負担がさらに増大するのは、同病院は地域の医療機関、行政を協力を求め、地域住民に不安を与えないよう努力している。

同病院は15日、医師や看護師ら職と市医師会、延岡保健所、六人の退職を説明、延岡市にも十六日に説明した。

【首藤正治市長】医師不足の問題は、根本的には国の問題であると考えているが、できる限り何か、何かのサポートという気持ちで、ごらまて取組んでいきたい。

宮崎県立延岡病院 夜間・休日救急患者数



平成21年1月下旬

市民運動がスタート

☆2つの市民団体が立ち上がる！

「宮崎県北の地域医療を守る会」：自治会中心

「地域医療を守る県北ネットワークの会」：商工会議所中心

当初は署名活動に取り組む



皆さん！
県北医療が大変な危機です！

県病院の先生の退職が相次いでいます。
3月末にも6名が辞めると報道されました。
今、県北医療は重大な危機を迎えています！

そして、何もしなければ…

医療崩壊

一人ぬけ、二人ぬけ～

皆で協力しよう！

県病院は、重症患者のための病院です。

1. 特に休日や夜間、救急車を呼ぶほどの重症ではないのに行くのはやめましょう！
(軽症患者は夜間急病センターか当番医の先生に診てもらいましょう)
2. 先生たちに頑張ってもらえるように、感謝の気持ちを示しましょう！

地域医療を守る県北ネットワークの会

1ヶ月間の署名活動

署名総数 151,907名

- 県に医師の補充を求める
- 時間外の安易な受診の自粛
- 医師に感謝の気持ちを伝える

平成21年3月24日
夕刊デイリー新聞

県立延岡病院

医師6人を補充

県、神経内科は休診

医師不足で四月から一部の内科で休診の恐れがあった県立延岡病院、腎臓科を含む6人の医師が補充されたことになった。県が二十日、明らかにした。腎臓科については岡山大学医歯部の継続派遣に加え、西米良診療所に勤務する県職員医師を異動させ休診を継続する。神経内科は医師が確保できず休診になる。延岡病院の医師総数は昨年四月より一減に落ちる。(27面に関連記事)

県立延岡病院で毎月未だでに入りの医師が大量職の意向を示しており、ほか数人の途中退職者がいた。補充されるのは、腎臓科に担当する医師一人のほか、宮崎大が麻酔科医一人と歯科口腔外科医一人、外科医一人、熊本大が呼吸器内科一人。退職の意向を示していた血液専門の内科医は継続勤務する。医師数は毎月一日現在で前年比一減の五十七人とする。県立延岡病院は、腎臓科に補充された医師の労働環境改善などに取り組む。派遣医師の負担を減らすなど、県職員医師を異動させることになった。延岡市や自治体、夜間の一次救急体制を整えておろす。県民の健康が守れる。それを考慮し、腎臓科は紹介予約外来を徹底し、女性医師は、勤務圏をしながら。同大学医歯部第三内科の医師三人が引退する神経内科は、四月以降休診となり、脳梗塞(JMW)の救急受け入れができません。延岡市医師会は二十日から輪班制を導入する。CT検査が必要な急症は、深夜帯は延岡市夜間急センター、深夜帯は県立延岡病院で受け入れる。脳出血の場合は県立延岡病院へ、脳梗塞の場合は同市内の四病院、一診療所が輪班対応する。神経

難病患者の救済に医師が尽力する。

市民の思いが届き、医師の大量退職は何とかまめがれたが...

市民の熱い思いと活動を一過性のものにしないために...

全国の市町村で初めて制定（平成21年9月29日）

基本理念

地域医療を守る

健康長寿を目指す

行政の責務

- ①地域医療を守るための施策の推進
- ②健康長寿を推進するための施策の実施

三者
それぞれの
責務を規定

市民の責務

- ①かかりつけ医を持つ
- ②適正な受診
- ③医師等に対する信頼と感謝
- ④健（検）診の積極的受診と
日頃からの健康管理

医療機関の責務

- ①患者の立場の理解と信頼関係の醸成
- ②医療機関相互の機能分担と業務連携
- ③医療の担い手の確保と
良好な勤務環境の保持
- ④健（検）診への協力

本日のメニュー

1. 全国市町村“初”延岡市の地域医療を守る条例
制定に至った経緯

2. 取り組みのポイント

- ① 医療機関のかかり方
- ② 市民の意識改革
- ③ 市民の不安解消

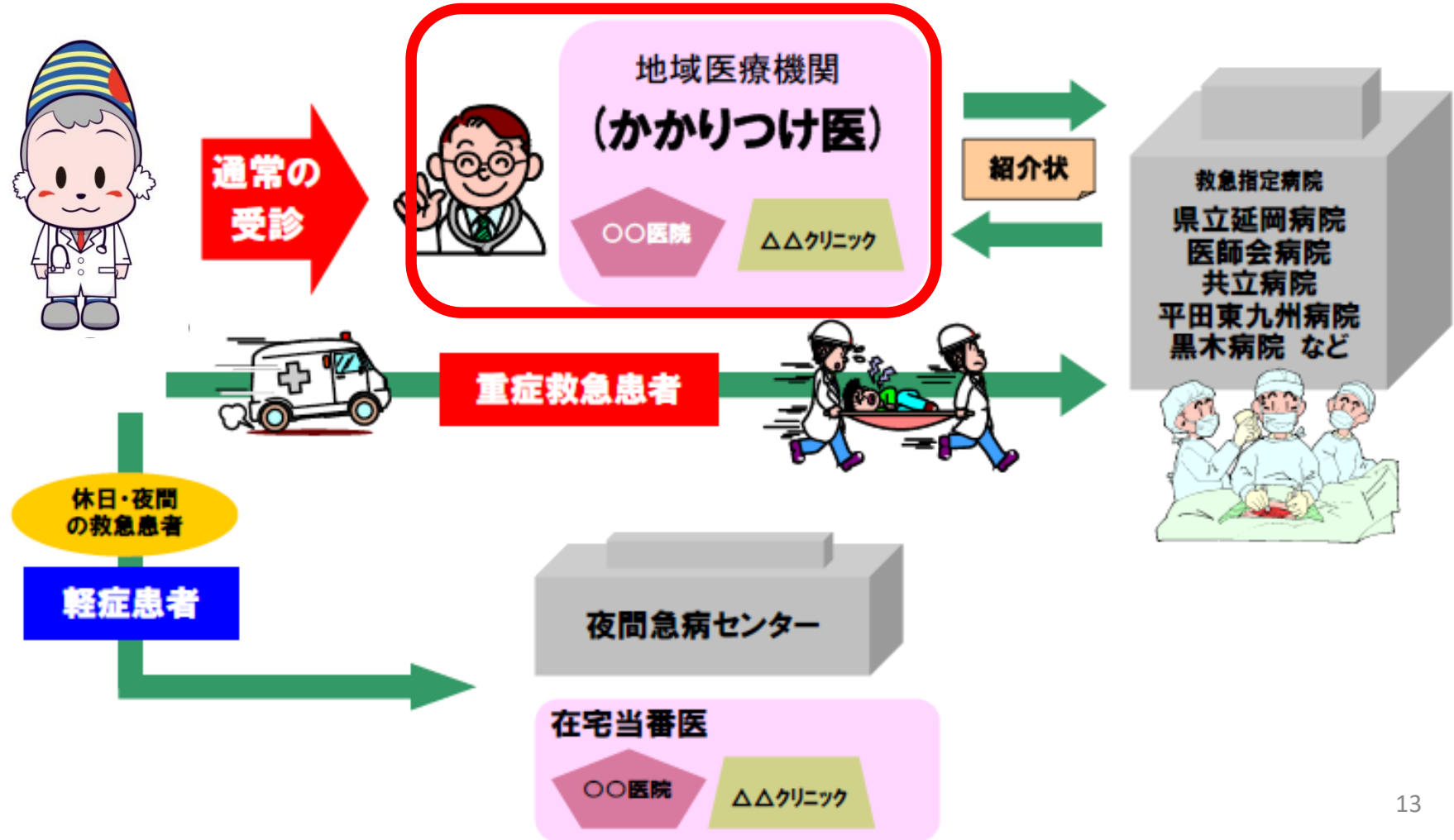


3. 取り組みの課題

- ① 医療に関心のない層へのアプローチ
- ② 活動の継続性

取り組みのポイント①医療機関のかかり方

医療機関の役割分担



取り組みのポイント②市民の意識改革

医師6人が退職へ



1. 地元紙等マスコミでの連日の報道

- マスコミの発信力の活用
- 地域医療の現状を発信

市民の危機感

2. 市民団体の立ち上げ・署名活動

- 一部の市民

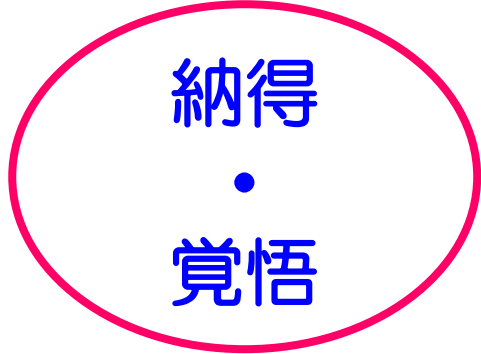
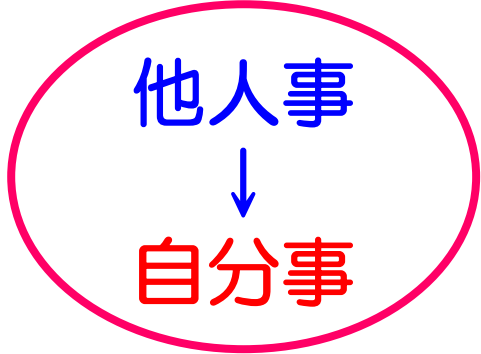


取り組みのポイント②市民の意識改革



3. 市民から市民への啓発活動

- 多数の市民が参加
- 医療サービスから医療資源へ



4. 自分に出来ることを・・・

- 「市民の責務（かかりつけ医、適正受診、感謝の気持ち、健診受診）」の実行

取り組みのポイント③市民の不安解消

平成30年度

延岡市 医療機関一覧表

【医科地区別】



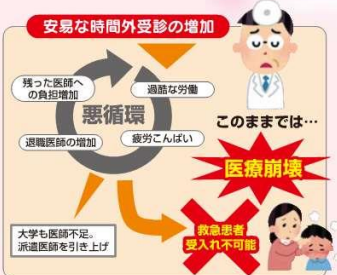
～皆で守ろう！地域医療～
～めざそう！健康長寿のまち～

宮崎県北の地域医療を守る会
延岡市地域医療対策室

小児科受診の前に
開いてみよう！
#8000の冊子版

子ども救急医療ガイド

～夜間や休日に目安となる症状別ガイド～



救急医療の現場は
パンク状態です。
適正な受診に
努めましょう！

平成29年9月発行

このガイドブックを受診の参考の一つとしてお役立てください。

かかりつけ医を
見つけよう！
延岡市内の地域ごとの
医療機関の診療科目・診療時間などが
記載

あんなときや
こんなときに
医師や看護師が
無料で相談を受けます
赤ちゃんからお年寄りまで
お年寄りまで
すべての人に
対応します！

けんぼく
県北救急医療ダイヤル
ハローゴゴゴ
0120-865-554
平日(月曜～土曜)午後5時～翌朝8時 日曜/祝日/年末年始 24時間対応
(12月29日～1月3日)
通話無料

【利用方法】 ① 上記の専用ダイヤルにお電話ください。
▼
② 相談員に電話が繋がりましたら、年齢・お住まいの市町村をお聞きますのでお答えください。
▼
③ その後、症状等をご相談ください。

※相談内容等、ご利用者のプライバシーは守られますので、ご安心ください。
※この電話相談は、診察や治療をするものではなく、助言によって相談者の判断の参考にしていただくものです。あらかじめご理解の上、ご相談ください。
※「大量の出血がある」等、明らかに緊急を要する場合には、すぐに119番にご連絡ください。

問い合わせ先 延岡市地域医療対策室 ☎(0982) 22-7066
事業団体 延岡市医師会 延岡市歯科医師会 延岡市薬剤師会 延岡市看護師会 延岡市助産師会 延岡市救急医療対策室

時間外受診の前に
まず電話相談！
赤ちゃんからお年寄り
まですべての世代に
対応しています 16

本日のメニュー

1. 全国市町村“初”延岡市の地域医療を守る条例制定に至った経緯

2. 取り組みのポイント

- ① 医療機関のかかり方
- ② 市民の意識改革
- ③ 市民の不安解消



3. 取り組みの課題

- ① 医療に関心のない層へのアプローチ
- ② 活動の継続性

取り組みの課題①医療に関心のない層へのアプローチ

巨大ちぎり絵 シールアート

こども
ワーク
ショップ

8.25(金) 10:00~11:30
延岡市民協働まちづくりセンターにて

お申込受付 ◆申込締切 8/18(金)

参加ご希望の方は、宮崎県北の地域医療を守る会 事務局まで「アートイベント参加希望」とご連絡ください。

びりびりちぎり絵
好きなものをなんでも貼って
つくるろう！巨大アート



参加費 無料
定員 50名
小学生 まで

◆ベビー休憩室としてご利用いただける
畳コーナーもございます

おもちいただくもの

●新聞紙も広生、不要になった包装紙



親と子のあした 人形劇

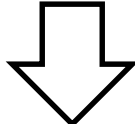


取り組みの課題②活動の継続性

県立延岡病院の医師
大量退職報道
医療崩壊地域



市民団体立ち上げ
署名活動



**市民団体との協働
啓発活動の継続**

災害

市民・市が同じ
立場で協力

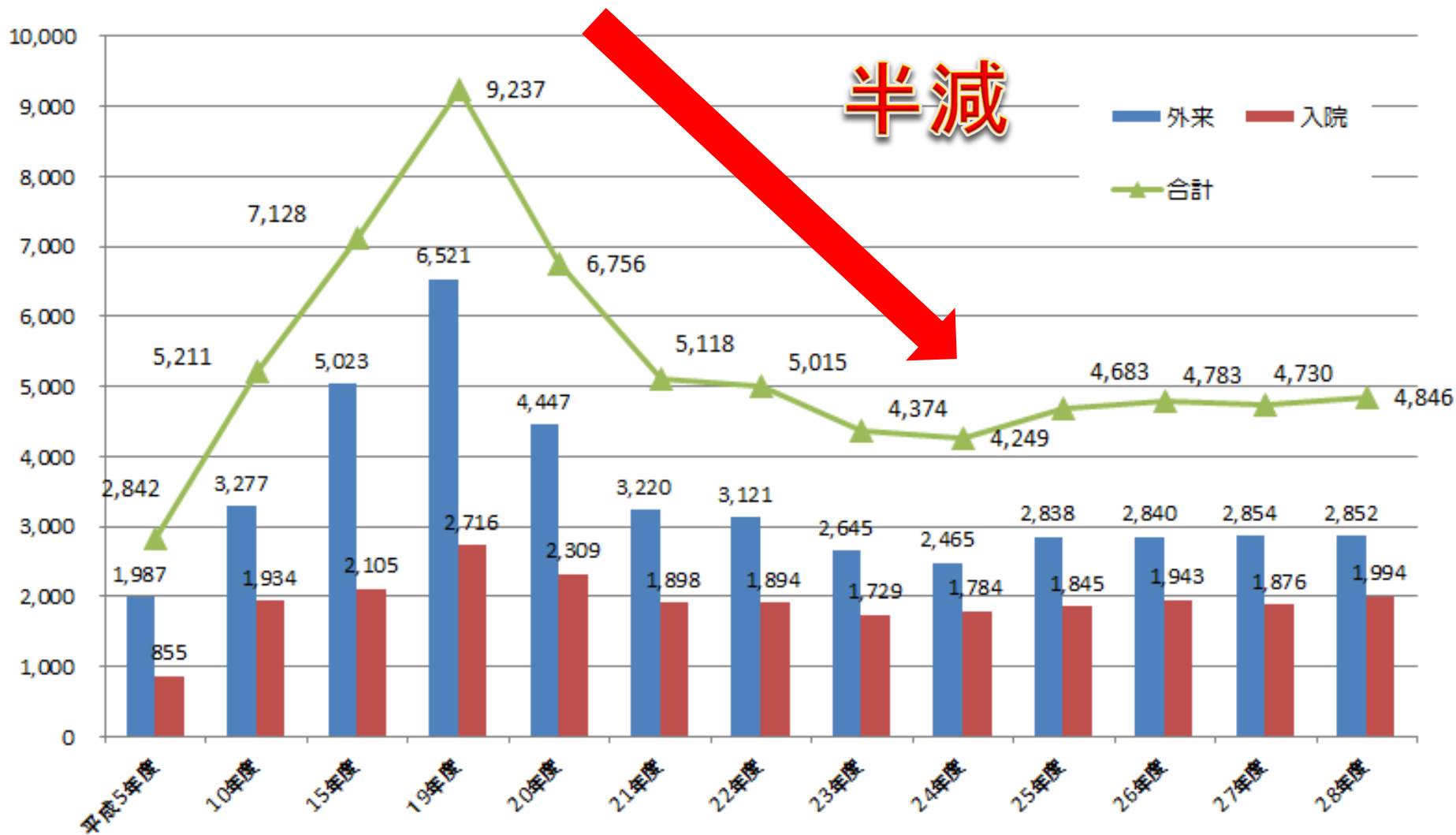
復旧

短時間勝負
きつても我慢
できる

復興

**長期間の活動
市民意識低下
市民団体のモチ
ベーション維持**

宮崎県立延岡病院 夜間・休日救急患者数



ピーク時の半分以下に減少！



おわり

Thank you

ありがとうございました！